

## (参考) 国のまち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」「総合戦略」の概要

### まち・ひと・しごと創生が目指すもの

- 2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。
- 人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。
- 国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する。
- まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。

### 【我が国の人口の推移と長期的な見通し】



### なぜ、まち・ひと・しごと創生か

- 人口減少問題は地域によって状況や原因が異なる。
- 大都市における超低出生率・地方における都市への人口流出+低出生率が日本全体の人口減少につながっている。
- 東京一極集中を是正し、若い世代の結婚・子育ての希望を実現することにより人口減少を克服。
- 地域特性に応じた処方箋が必要。

### 総合戦略における今後の施策の方向

- 基本目標 1 地方における安定した雇用を創出する
- 基本目標 2 地方への新しいひとの流れをつくる
- 基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

浜松市“やらまいか”人口ビジョン、浜松市“やらまいか”総合戦略 概要版 平成 27 年 12 月

編集・発行：浜松市企画調整部企画課

T E L : 053-457-2241 E - m a i l : kikaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp



## 浜松市“やらまいか”人口ビジョン 浜松市“やらまいか”総合戦略 の概要

国においては、平成 26 年 11 月に「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、法では、すべての市町村において、国、県の総合戦略を勘案し、「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を定めるよう努めなければならないと規定されています。また、総合戦略の策定に当たっては、人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」を策定するものとしています。

このため、浜松市では、既に公表している推計人口を踏まえ、人口の現状を再度分析し、単なる推計ではなく、今後目指すべき方向と人口の将来展望を描く、「浜松市“やらまいか”人口ビジョン」を策定しました。

また、人口の将来展望の実現を目指すための基本目標及び基本目標を達成するための政策・施策を定めた、「浜松市“やらまいか”総合戦略」(計画期間：平成 27 (2015) 年度から平成 31 (2019) 年度の 5 年間) を策定し、人口減少克服に向けた挑戦をスタートさせます。

### 浜松市“やらまいか”人口ビジョン (人口の現状と将来の展望)

○浜松市の将来推計人口 (現在の出生率、移動率などがこのまま続いた場合)

2040年：695,000人 2060年：564,000人

(⇒さらに減少加速⇒) 2100年：344,000人

- 若者、子育て世代の生活基盤の安定
- 希望出生数をかなえる環境整備
- だれもが引き寄せられる都市の魅力を創出

戦略的な対策の実施

合計特殊出生率

2025年までに1.84、2035年までに2.07とする。

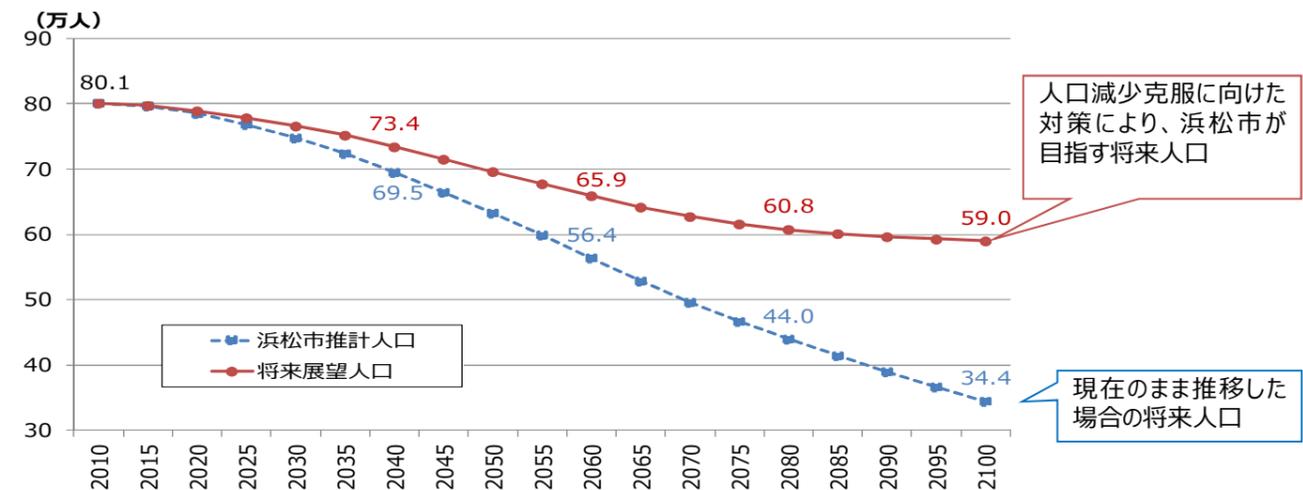
社会移動

2020年までに東京圏との社会移動を均衡させる。

○浜松市が目指す将来の人口 (将来人口展望)

2040年：734,000人 2060年：659,000人

(⇒人口が安定⇒) 2100年：590,000人



# 浜松市“やらまいか”総合戦略（人口減少克服に向けた戦略的対策）

## ○基本目標と数値目標

### 基本目標Ⅰ 若者がチャレンジできるまち

#### 「仕事のない場所に人は集まらない!!」

◎若者、子育て世代の生活基盤の安定

“ものづくりのまち”として発展を遂げた本市の強みを活かし、地元産業力の強化によって魅力的な雇用の場を創出するとともに、あらゆるジャンルの創業や女性の就業などの支援を強化することで、若者、子育て世代の生活基盤の安定を図り、転入促進・転出抑制を目指していく。

#### 数値目標(2024年)

- ・満足いく雇用機会に恵まれていると思う人の割合 (基準値) 26.0% (目標値) **30.0%**
- ・市内総生産額 (基準値) 2兆9,661億円 (目標値) **3.3兆円以上**

### 基本目標Ⅱ 子育て世代を全力で応援するまち

#### 「理想とする家族像が実現できないなんて夢がない!!」

◎希望出生数をかなえる環境整備

結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を提供し、子育て世代を全力で応援することで、人口減少に歯止めを掛ける人口置換水準 2.07 を目指していく。

#### 数値目標(2024年)

- ・合計特殊出生率 (基準値) 1.47 (目標値) **1.84**
- ・子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う人の割合 (基準値) 23.4% (目標値) **50.0%**

### 基本目標Ⅲ 持続可能で創造性あふれるまち

#### 「浜松に住み続けたい!!」「浜松で暮らしたい!!」

◎だれもが引き寄せられる都市の魅力を創出

利便性が高く、コンパクトでメリハリの効いた、次世代にツケを残さない、人口減少時代に合ったまちづくりを進めるとともに、いつまでも、安全・安心な暮らし、にぎわいのある生活環境、人とつながりが見える地域社会など、日常の豊かさを実感できるまちづくりを進めることで、市内外の人を引き寄せる都市の魅力を生み出し、高めていく。

#### 数値目標(2024年)

- ・住んでいる地域が住みやすいと思う人の割合 (基準値) 58.9% (目標値) **65.0%**
- ・健康寿命 (基準値) 男性 72.98歳、女性 75.94歳 (目標値) **男性 73.98歳、女性 76.94歳**

## ○基本目標に対応した基本的方向と施策体系

### I-1 地元産業力の強化

イノベーションの連鎖を生み出す  
新産業の創出と既存産業の高度化

海外展開支援と集積による  
地域企業活性化

新規創業・就農のチャレンジサポート

担い手第一主義の農林水産業振興

浜松版スマートシティの推進

### I-2 労働供給力の開拓

チャレンジ・再チャレンジを後押しする  
就労支援

だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備

- ◆「ものづくりのまち」の次代を担う成長産業へのチャレンジ支援
- ◆“やらまいか精神”が根付く地場産業の支援
- ◆農林水産業の6次産業化などの推進
- ◆天竜材のブランド力強化及び流通拡大

- ◆海外の活力を取り込むビジネス展開支援
- ◆新たなリーディング産業となる企業の誘致推進
- ◆農林水産物の海外販路開拓

- ◆創業希望者への相談・情報提供の推進
- ◆新規就業者などへの支援

- ◆農地の流動化による有効利用の推進
- ◆多様な担い手の育成

- ◆浜松版スマートシティの実現
- ◆日照時間日本一を活かしたエネルギー自給率の向上

- ◆ハビキャリもバリキャリも活躍できる環境づくり
- ◆UIターン・地元就職支援
- ◆就職を希望する人への就労支援
- ◆働きやすさ・住みやすさの発信

- ◆ワーク・ライフ・バランスの推進

### II-1 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

結婚・妊娠の希望を全力で応援

安心して出産できる環境づくり

待機児童の解消と子育て支援の充実

### II-2 「創造都市・浜松」を担う次代の育成

第2、第3のノーベル賞受賞者の育成

地域の力を活かした市民総がかりの  
ひとづくり

- ◆結婚・妊娠に対する前向きな機運の醸成
- ◆不妊に対する包括的な支援

- ◆母子の健康の保持・増進

- ◆保育施設・放課後児童会の拡充
- ◆地域の子育て力の向上
- ◆子育てに対する不安や負担の軽減

- ◆子どもの才能を伸ばす特別課外講座の充実
- ◆子どもの興味を引き出す機会の充実

- ◆地域・保護者・学校の連携による学校づくり
- ◆地域愛をはぐくむ教育の実践
- ◆子どもの個性に応じた支援体制の整備

### III-1 安全・安心なまちづくり

災害に強いまちづくりの推進

### III-2 にぎわいの創出

創造都市の推進

浜松・浜名湖ブランドの確立による  
交流人口の拡大

地域の特性を活かした魅力づくり

### III-3 支えあいによる地域社会の形成

次世代を見据えた地域コミュニティの形成

人と人とのつながりをつくる社会の実現

### III-4 コンパクトでメリハリの効いたまちづくり

政令指定都市トップの健康寿命の延伸

拠点ネットワーク型都市構造の形成

効果的・効率的な市民サービスの提供

- ◆防潮堤の早期実現
- ◆地域防災の推進

- ◆多様な音楽に触れる機会の創出

- ◆ブランドの確立
- ◆国内外からの交流人口の拡大

- ◆まちなかのにぎわい創出
- ◆中山間地域のにぎわい創出

- ◆市民協働のまちづくりの推進
- ◆多文化共生による市民主体の地域社会の形成

- ◆医療・介護・予防・住まい・生活支援など切れ目のないサービス提供

- ◆一人ひとりが健康づくりに取り組みやすい環境整備

- ◆集約型の都市づくり
- ◆拠点を結ぶ交通ネットワークの形成

- ◆持続可能な市民サービス提供体制の構築
- ◆広域連携の推進